

**製品名: SERPINE1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81074**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SERPINE1
別名	PAI; PAI1; PAI-1; PLANH1
遺伝子 ID	5054.0
SwissProt ID	P05121
免疫原	大腸菌で発現したヒト SERPINE1 の精製された組み換え断片。

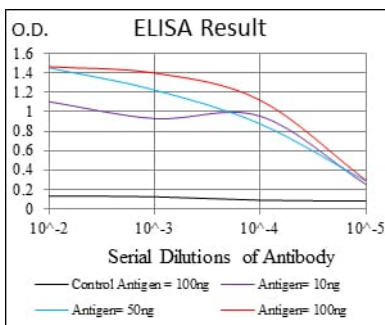
**背景**

この遺伝子は、セリンプロテアーゼインヒビター（セルピン）スーパーファミリーのメンバーをコードします。このメンバーは、組織プラスミノゲン活性化因子（tPA）およびウロキナーゼ（uPA）の主要な阻害因子であり、したがって線溶を阻害します。この遺

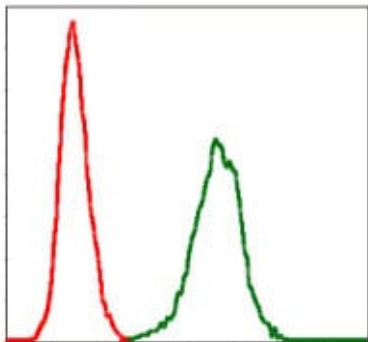
伝子の欠陥は、プラスミノゲン活性化因子インヒビター1欠損症 (PAI-1欠損症) の原因であり、遺伝子産物の高濃度は血栓形成能と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。

## 研究分野

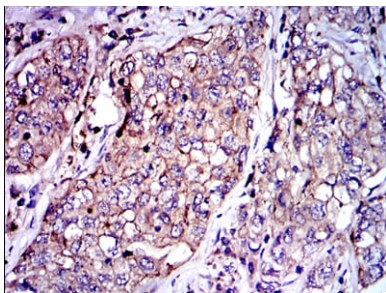
## 画像データ



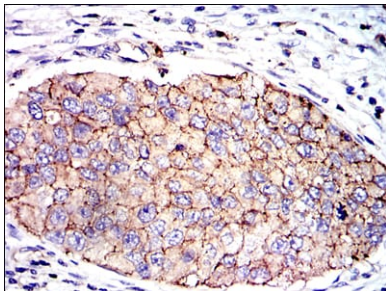
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



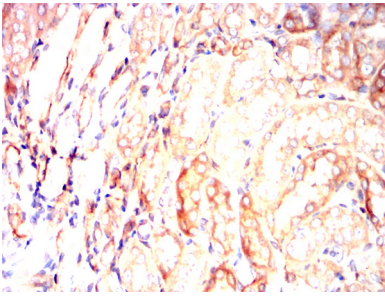
SERPINE1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



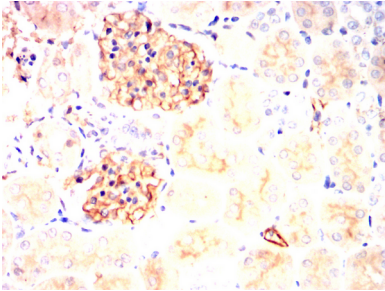
SERPINE1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による SERPINE1 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト腎臓癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による SERPINE1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。



DAB 染色による SERPINE1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓の免疫組織化学分析。